



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長:

ホルガー・クナーク (ドイツ)

国際ロータリー 第 2500 地区 第 3 分区

Asahikawa Morning Rotary Club

2020～21 年度 第 1280 回 例会報告

例会日: 2021 年 05 月 27 日 (木) 時間: 7:30～8:

例会場: ZOOM 例会

クラブ活動方針 『未来に紡ぐ』 クラブ会長: 木村 和哉・幹事 坂本

2500 地区ガバナー

ランクアップをしよう

会長挨拶 木村和哉



おはようございます！

もうワクチンを打たれた会員の方もいらっしゃると思いますが、北海道の緊急事態宣言が発令されてからも一向に減少傾向にはありません。5/31が期限ですがさらなる延長は避けられないと思われます。一年前は一年後の今の状況はきっと好転しているだろうと思っておりましたが、ワクチン以外は変わりませんでしたね。これは松田ガバナーも同じ気持ちだと思います。地区大会は昨年10月から7か月後の明後日5月29日に延期変更されました。

結局オンラインでの地区大会となってしまいました。その地区大会ですが、「5月29日13:00～YOUTUBE」にて開催されますのでよろしくお願い申し上げます。次年度はワクチンによって通常例会さらには地区大会等出来ることを祈っております。

最後に、年度末ですので6月はホテルで例会を行いたいと思っておりますが、旭川が緊急事態宣言中は、ZOOM 例会となる可能性がありますのでよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。本日もよろしくお願い申し上げます。

会務報告 会長 木村和哉

- 1、国際ロータリー第 2500 地区ガバナー事務局より、「バーチャル国際大会についてのお知らせ」收受。※登録・登録料のお支払い（クレジットカード払い）は個人です。
- 2、川口モーニングロータリークラブより、「創立 35 周年記念式典延期のお知らせ」收受。
※次年度に延期になりました。
- 3、旭川東北ロータリークラブより、「米山記念奨学生 アミラ・アリムさんへの寄付お令状」収

クラブ協議会 次年度活動について

五大委員長より

クラブ管理運営委員会

コロナ禍により、例会開催を含めたクラブ運営に大きな変化が求められましたが、ZOOMによる例会の開催をいち早く取り入れた我がクラブの行動力には誇るべきものがあると思います。今年度も予定されていたプログラムの変更を余儀なくされることも考えられます。一堂に会しての例会開催は、コミュニケーションを図る貴重な機会と捉え、またグループLINEを活用した会員間の情報発信等、繋がりを強くする有意義な時間となるよう取り組みます。

大久保 昌宣 委員長

会員組織委員会

2021-2022 年度国際ロータリー シャカール・メータ会長のテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」と掲げられました。

今年度の会員組織委員会としては、宮永会員増強委員長そして、石川会員研修委員長に大役を担って頂きます。退会を無くし、新入会員を多くお招きして、活気あるクラブ運営を目指します。その為にもより良い環境づくりを会員の皆様と考え実行していく所存であります。さらには、クラブ内で「楽しく学べる研修」や「活気のあるオリエンテーション」をモーニングの活動が豊かになるよう各委員長と実行していきたいと思っております。

よろしくお願い申し上げます。

木村 和哉 委員長

広報 IT 委員会

広報 IT 委員会はロータリーを一般の人々に広め、ロータリーのプログラムへの理解、評価を高めロータリーの好ましいイメージづくりを推進するという役割をもって行動する。

メディア、地域のリーダー、プログラムの受益者、ボランティア、寄付提供者を対象に広報を行い、ロータリーへの理解を得るための広報活動がロータリーの目標を達成するための有効な施策である事をロータリアンに周知させる。

会報誌の制作には編集者の負担が大きいため省力化、また環境保護のためにもペーパーレス化を目指し、今年度からは MRC ホームページ、SNS、フェイスブック等の広報活動をメインに紙媒体での広報誌を徐々に IT にシフトしながら、より身近に多くの若者たちがロータリー活動に興味を持てるような機会を作り、ロータリーの魅力を伝えていく。

朝倉 直博 委員長

ロータリー財団・米山推進委員会

今年度、ロータリー財団と米山記念奨学会の担当を致します。

ロータリー財団の正式名称は、国際ロータリーのロータリー財団です。

使命は世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することです。

これらを解決することにより世界理解、世界間の親善、そして平和を達成できるものと考えます。

また米山記念奨学金は、同じく国際親善と世界平和に寄与する「米山募金」を切掛けに始まりましたが、日本のロータリー創設者米山梅吉翁の功績を偲び、今や世界最大の奨学財団となりました。

いずれも世界の人道的、教育的プログラムに十分に生かされています。

ロータリーの縁に結ばれた私達の手で、より良い世界社会の構築の一助となればと思ものです。

皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

竹村 陽子 委員長

奉仕プロジェクト委員会

※職業奉仕委員会委員長 谷地元憲次

※社会奉仕委員会委員長 高見一典

※国際奉仕委員会委員長 竹澤元男

※青少年奉仕委員会委員長 竹村陽一

奉仕プロジェクトは、四大委員会が計画した内容等の現状を調査し、新型コロナウイルス感染の長期化を受け、事業等が限定されますが、各委員長が英知と勇気と情熱をもって数回の委員会の打合せ等で下記の事業計画を立てました。現状を見極めながら対応をしていきたいと考えています。

※職業奉仕委員会

私たちロータリアンは職業人のクラブであり、それぞれの職域での確固たる基本理念を用いて、社会ニーズに応え努力するものであります。

そのために各分野での有意義な情報を共有し、道徳的水準を高めると共に品位向上の奉仕を目的として活動します。

移動職場例会を実施し、地域に根ざした事業所を見学させてもらい、経営（運営）理念により育んだ「こだわり」や手法を学んで、事業への可能な応援（支援）活動を行います。

1 毎例会時「四つのテスト」を唱和し、道徳水準を高め、あらゆる場面で論理的行動を起こさせるような指針と致します。

2 職場訪問例会を実施し、特に旭川市内のノレンの古い歴史の有る事業所の技と心を学び日本の文化を再現しましょう。

3 例会時、他職種での有益な情報交換をし、互いの理解を深めましょう。

職場例会実施計画

・創業120年余を誇る(株)近藤染工場（旭川市1条通り3丁目右1号）様を訪問し、先祖代々受け継がれた職人技を拝見させて頂き、貴重な「刷毛引き本染め」の技と心を学び、日本文化の

守護尽力に感謝する。

- 1 創業明治31年、近藤染工場の歴史を知る。
- 2 伝統工芸としてのこだわりやモットーを知る。
- 3 刷毛引き本染め（手仕事）の工程を知る。
- 4 旭川に根ざし、日本伝統文化を継承する近藤染工場の生業を社会に伝える。

※社会奉仕委員会

本年9月中旬頃に高見農園にて稲刈り体験と新米試食会を実施したいと思います。又、来年の年明け2022年5月上旬に、2002年～2003年時（桑原会長。武田幹事）、設立10周年記念事業として東鷹栖のふれあい公園に桜の木（約10本？）を植樹しており、もうすでに20年が経過していることもあり、その後の生育（桜満開時）を見るとともに桜の木周辺の環境整備等を行いたいと考えています。宜しくご協力をお願い致します。

※国際奉仕委員会

今年度、いつまで続くかコロナのいきおいですが、国際奉仕としては昨年同様の活動を考えています。

使用済み切手・日本飢餓機構に落穂募金を皆様のご協力をいただき活動をして行きたいと思っています。

コロナがおちつきましたら、インドネシアでの水資源（1つには学校に水の浄化とか、水資源として井戸を掘る）とかの作業をバリ島のクラブと一緒に事業をやって行きたいと思っています。

※青少年奉仕委員会

青少年委員会として長期に継続出来る奉仕活動の一環として、今年度は子ども食堂、高等学校ボランティア活動、工業高等専門学校等の研究開発等の支援、協力、サポートを行うこと、またその活動内容の発表、報告を通じ理解を深めていくことを重点的に考えていきたい。

その他、会員から青少年の健全育成に資すると考えられる活動のご提案があった場合は速やかに対応、検討し今後の活動に活かして行きたいと考えます。

会員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

活動計画

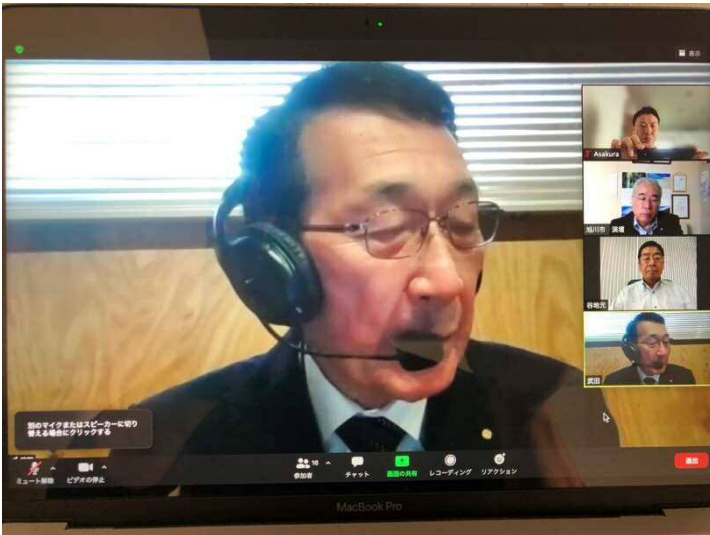
- ・地域青少年活動への支援、協力、サポート
- ・第41回RYLAセミナーへの協力
- ・青少年奉仕月間に国内における奉仕活動の紹介

武田 昭宏 委員長



竹村陽子 会員

井上 会員



武田 会員



* 旭川モーニングRC 出席報告 *

* 本日の出席 第 1280 回 例会 総員 22 名

5 月 27 日分 出席 19 名 出席率 86. 36%

* 修正出席 第 1277 回 例会 総員 22 名

4 月 1 日分 出席 18 名 出席率 81. 82%

* 修正出席 第 1278 回 例会 総員 22 名

4 月 8 日分 出席 22 名 出席率 100%

修正出席 第 1270 回 例会 総員 22 名



ニコニコ BOX

本日はごさいません。



三ノ夕

〇三